

# 各国森林・環境概況

各国の森林・環境・文化

日時：平成25年8月11日（日） 10:00～15:00

講師：田中 隆文（あいち海上の森大学コーディネーター）

## 概況



科目 各国森林・環境概況(各国の森林・環境・文化)

受講者の環境活動紹介や、各国の環境課題・取組に対する考えを発表。

○森林再生・里山文化コース

①O氏

「自然環境から自然保護へ ～生き物のことは生き物に聞け～」

自然のことは自然を良く観察することでしか分からない。新聞や本で読んだことを鵜呑みにしないで、自分が納得いくまで観察する姿勢が大事である。

②K1氏

「水環境を学ぶ」

環境を水の視点から考察した発表。北海道でクマが里に出現することが多くなった原因として、ダムができサケが遡上できなくなり、エサ不足となっていることが考えられる。

③K2氏

「環境学習ネットワークグループと私」

ギフチョウの棲める里山再生活動の事例発表。

④D氏

「私の夢をかなえるために ～あいち海上の森大学に入学して～」

一つの植物を守るためには、他の植物を伐らねばならない。森林を良くするための総

合的な視野を持ちたい。

⑤T氏

「現地視察で感じたこと、雑話として」

更新方法によって長い年月の間に地力が変わっていくことを、吉野林業と尾鷲林業の違いから説明。

⑥F氏

「山村に住むこと」

合併して足助は豊田市になったが、皆トヨタ関連に勤務し、地元で働いている人は少ない。仕事を創ることが必要である。

⑦M氏

「里山の文化的景観における樹木・小規模樹林地 ～滋賀、京都、ラオスの事例～」

森林や集落、農地といった景観は人々の生産活動や宗教・信仰などの文化的な関わりの中から築かれる。地域に合った豊かな自然環境を活かしたまちづくりが重要である。

○国際交流コース

①N氏

「台湾の環境行政について」

台湾では二酸化炭素の削減に向けて自転車の普及を推進している。自転車道も整備されており、自転車の生産台数は世界一であり、台湾ブランドとして定着している。

②R氏

「アフガニスタンの森林について」

アフガニスタンでは望まない戦争で森林は破壊され尽くした。平和があつての森林である。

○特別発表

「ミャンマー等の森林・環境・文化について」

国際連合地域開発センター 上席研究員 高井 克明

保全と開発の調和を図り、自然を守ることがコミュニティの生活向上につながる事が事例として紹介された。